

海獣・魚類に共通する質問（飼育・水槽整備など）

回答：しながわ水族館 <https://www.aquarium.gr.jp/>



Q.海にはどれくらいの生物がいるの？

海洋生物総種数は約23万種確認できていると言われています。
ですが、いまだに多くの新種が見つかるように、未知の種が多く存在すると考えられています。

Q.海の生きものの寿命はどれくらいですか？

種類によってさまざまですが、「ニシオンデンザメ」という北大西洋に生息する大型のサメが400年近く生きることができるということがわかりました。それまで最も寿命が長いと言われていたホッキョククジラは211歳という記録があります。

Q.なんで水の生きものは水の中で暮らせるの？

魚にはエラがあり、水の中でも呼吸ができるからです。エラは、水にとけている酸素だけを取り込むことができます。また、魚には5つのヒレが付いていて泳ぐために適した体をしているので、水の中でも暮らせます。

Q.しながわ水族館には何種類ぐらいの生きものがいるの？

しながわ水族館には現在約450種類の生き物がいます。

Q.どの生きものを育てるかをどのようにして決めるのか

どんな生物を飼育するかは、生きものの大きさにあった水槽があるか、餌を準備できるかなどを調査したうえで決めていきます。

Q.水族館の生きものはどこから来ますか。どうやって連れてくるんですか？

海や川の生きものの販売を専門にしているお店から買ったり、他の水族館からもらったり

しています。体のサイズが大きい生きものは、水槽が乗ったトラックで運びます。体のサイズが小さい生きものは、水と空気が入ったビニールを、段ボールや発泡スチロールに入れて宅配便で運びます。

Q.水族館の生きものは、一度水族館に来たら、その後はずっと水族館で暮らし

続けるのですか？それとも自然にかえすこともあるのですか？

生きものは最後まで責任を持って水族館で飼います。一部の生き物では自然に帰す可能性もゼロではないため、計画的に飼っている種類もいます。

Q.大きな生きものをどうやって水族館に連れてくるの？

安全に運ぶことができるように生き物の大きさに合わせた専用の水槽を用意します。大きな水槽がついている車や、専用の水槽を大型のトラックに乗せて運んでいます。

Q.お世話が一番大変な動物はどれですか？

どの動物のお世話も大変です。動物たちは、体調が悪くなっても教えてくれません。病気にならないように、水槽の水をきれいにしたり、その動物に合った温度に調節したり、餌の種類や量を決めたりしています。もし病気になってしまった場合は、すぐに治療します。動物たちが毎日元気に暮らせるように飼育員はどの動物たちのお世話も一生懸命です。

Q.水族館の生きものが病気や具合が悪くなった時はどういうふうになるの？

餌の時間になっても近寄ってこないことや、餌を食べなくなってしまうことがあります。そうなる前に、毎日、餌の食べ方や泳ぎ方を観察して、いつもと違う所はないか気がつくことが大切です。イルカやアザラシは、定期的に健康診断も行っていて、病気になる前に治療したり餌の量を決めたりしています。

Q.1番たくさんごはんを食べる生きものは何ですか？

水族館の中ではイルカが1番です。1日に10～15kgの魚を食べます。

Q.水族館にいる生き物の1か月のエサの量が知りたいです。

1日に、およそ100kgの餌を使っています。

その内の半分以上がイルカの餌です。イルカだけで、約70kgの魚をあげています。

Q.1日何回えさやりをしていますか？食費はどのくらい？

餌をあげる回数は、一部の魚で1日1回から、イルカは1日5回と幅広いです。

食費は1日およそ30,000円です。

Q.サメは1日どれくらいごはんをたべますか？

しながわ水族館で飼育しているシロワニというサメの仲間は、一週間に1回、約3kgの餌を食べます。

Q.人気ナンバーワンの餌はなんですか？

それぞれの生きものたちの食性に合わせた餌を与えています。

全ての生きものに同じ餌を与えているわけではないのでナンバーワンを決めるのは難しいですが、同じ種類の生き物でも餌の種類、切り方、感触などで好みが出ることもありますのでおもしろいです。

Q.動物の餌はどこから買ってきますか？

水族館で使う餌はほとんどが保存のできる冷凍餌を使っています。

イルカやアザラシの餌は、一日に80kgの魚を使います。

スーパーマーケットや町の魚屋ではなく、漁港から直接魚を仕入れられる大型の魚屋から買っています。水族館の裏側には、約2週間分の餌が入る冷凍庫があって、トラックで運ばれた餌はそこで保管しています。

Q.生きものたちにも好き嫌いはありますか？

(本来はこれを食べるはずなのに、この個体は食べたがらないなど…)

イルカは、餌の好き嫌いはほとんどありませんが、アシカやアザラシ、カワウソの場合、いつもは食べている餌・他の個体は食べられる餌なのに食べてくれない時があります。どの種類も味を感じる器官(味覚)はありますが、イルカにはニオイを感じる器官(嗅覚)がありません。ニオイを感じる生き物は、ニオイで好き嫌いがあるのかもしれませんが。

Q.動物たちは餌に飽きませんか？

基本的に飽きることはないです。もちろん例外はあります（カワウソなど）。飽きさせないように工夫をして餌をあげています。

Q.一番餌やりが難しい生きものは何ですか？

それぞれの生きものに合わせた餌のあげ方をしていますので、餌やりにはそれぞれコツがいります。デンキウナギに餌をあげるときには、感電しないように注意しています。また魚や動物に手を噛まれないように注意が必要な場合もあります。

Q.水族館の生きものから、人間ってどう見えているの？

イルカやアザラシの視力は0.1ぐらいと言われていいますので、少しぼやけて見えているかと思います。ですが、興味を持ったお客様とガラス越しに遊んでいたりと、餌の前になると飼育員の姿を見つけるために水槽の中からじーっと通路をのぞいていたり、人間の動きやシルエットはしっかり見えています。

Q.水族館の生きものたちも人見知りをするの？

します。飼育スタッフそれぞれに反応が違ったり、餌を受け取ってくれなくなったりすることもあるので、人見知りっぽいことはあると思います。

Q.飼育員さんは、それぞれの生き物の見分けがつかますか。

（個体の識別ができますか）

イルカ・アシカ・アザラシ・ペンギン・カワウソ・サメ・エイ・ウミガメなど大型の生き物や飼っている数が少ない生き物は見分けることができます。イワシやクラゲなど多くの数で飼育している生き物は1個体ずつ見分けることは難しいですが、全体を見て他の魚と比べて体調が悪そうでないか、痩せている魚がないかはしっかりと確認して飼育しています。

Q.動物の言っていることはわかりますか？

言葉でやり取りはできませんが、表情や行動から感情を読み取ることはできると思います。ただし正解はわからないので、常に何か起きるかもというのは頭で考えながら接しています。

Q.水族館の生きものもお風呂に入ったり、歯を磨いたりするの？

水族館の生きものは、水の中で生活しているので、お風呂に入ることはありません。アシカやアザラシは虫歯にはなりませんが、歯ぐきの病気になることがあるので、予防のために歯みがきが必要な事もあります。

Q.夜起きている生きものはいますか？

コツメカワウソは夜行性ですが、水族館で飼育している個体は日中に餌を食べるなど活動量が増えるので、夜間は寝ていることが多いです。

一部の生きもの（ナマズやアナゴなど）は夜行性ですので、夜の方が活動的ですが、ほとんどの生きものは夜、動きがゆっくりになります。夜に人間のようにぐっすり寝る生き物は少なく、すぐに起きられる状態で過ごしています。

Q.しながわ水族館の中で一番怖がりな生きものはなんですか？

マイワシは音や光にとっても敏感です。

カメラのフラッシュや大きな音に驚いて、水槽にぶつかってしまうこともあります。そのため水族館では電気のつけ方に工夫をしたり、驚かさないように注意したりして飼っています。

Q.暑い時期に外にいる動物が熱中症にかからないか心配です。

対策はしていますか？

日が当たる場所に日よけを張ったり、散水(ミスト)をしたり、冷風をかけるなどの対策をしています。

また日ごろから、その生きものにあつた餌で栄養と水分を十分にとらせて、熱中症にかからないようにしています。

Q.この猛暑は水族館の生きものに何か影響を与えていますか？

猛暑でも生きものたちに影響がでないように、水槽の水や生きものが暮らす部屋の温度を調整しています。生きものたちに影響はありませんが、水温や室温を調節する機械を長い時間、また強いパワーで動かしますので、電気代が高くなってしまいます。

Q.水族館の生きものに食べられそうになったことはありませんか？

しながわ水族館で飼育している生き物で人を襲う種類はいませんが、体の大きなシロワニは、時々人を襲うこともあると言われています。水槽の掃除のために、飼育員がシロワニのいる水槽に入る時には、襲われないように水槽の上から別の飼育員がシロワニの動きを観察して、必要な時には棒を使ってシロワニの泳ぐ方向を変えています。

Q.魚やペンギンはどうやって卵を産んで、赤ちゃんのお世話は誰がするのか。

気をつけていることは？

生きものが気もちよく暮らせる環境にしてあげれば、自然にタマゴを産んで子育てをします。

親が子育てをする種類と飼育係が子育てをする種類がいます。

生きものが落ち着いて子育てができるように、静かな環境で暮らせるように気をつけてあげています。

Q.水族館に双子はいる？

イルカやアシカの仲間は、双子で生まれることはほとんどありません。

カワウソは、一回の出産で1~5頭の赤ちゃんが生まれます。

しながわ水族館で暮らしているカワウソの「シュラ」は、サンシャイン水族館で暮らしている「シュリ」と双子の姉妹です。

Q.外国から来た生きものはいますか？

アシカショーで活躍している、オタリア（アシカの仲間）とオットセイは海外から来ました。魚は海外から来た種類が多いですが、シロワニ（サメの仲間）はオーストラリアから来ています。

Q.絶滅危惧種への取り組みを教えてください。

コツメカワウソは、絶滅危惧種に指定されています。水槽の横に設置している解説版やイベントで、水族館に遊びに来てくださったお客様たちに、カワウソがおかれている現状をお伝えすることで、環境問題や密輸に関して、興味を持ってもらえるきっかけ作りをしています。「ムサシトミヨ」という魚に関しては他の水族館と協力して、保護活動（解説や繁殖など）にも力を入れています。

Q.水族館の生きものと自然界の生きものはどっちが長生きですか？

自然界と比べることは難しいですが、その生き物にとっての外敵がない水族館では、長生きする生き物がたくさんいます。

Q.水族館で亡くなってしまったアジなどは、アシカやイルカ、ペンギンのご飯になるのですか？

死んでしまった生き物を他の生き物の餌にすることはありません。

死んでしまった生き物はなぜ死んでしまったか原因を必ず調べています。

Q.生きものが死んでしまったら、どうなりますか。

水族館で死んでしまった生きものは飼育員や獣医が解剖をして、その原因を探します。他の生きものにうつってしまうような病気であれば、それを予防しなければならぬからです。また、解剖をすることにより骨や血管の位置など外側からは見られない体のつくりの正確な位置を知ることができます。

Q.水族館の楽しめる見学の仕方を教えてください。

ショーやいきものトークなどのイベントに参加するのはもちろんですが、気になったことはぜひ飼育員に声をかけて聞いてもらいたいです。見ているだけではわからないことや解説板には載せきれないこともお伝えします！！

Q.飼育員さんおすすめの生きものは？

ゴマフアザラシです！しながわ水族館のゴマフアザラシは個性豊か。せまいところに挟まっていたり、水中に転がって寝ていたり、ぼーっと水面で浮いていたり…。真横を泳いでくるアザラシとぜひ一緒にお写真を撮ってみてください！泳いでいるア

ザラシをのんびりと見ているのもおすすめです！

Q.水族館で飼育してみたい生きものはありますか？

どんな生きものを飼育するかは、水槽の大きさや餌を準備できるかなどを調査したうえで決めているので、何でも飼育できる訳ではありませんが、個人的には大きめの爬虫類（はちゅうるい）や哺乳類など水辺で暮す生き物を飼育したいです。

Q.それぞれの生きものの勉強は、どうやってしていますか？

基本的にはいろいろな本から学んでいます。

その他には先輩飼育係から学んだり、生き物のくわしい人にとって話を聞いたり、自分で海に行き実際にすんでいるところを学んだりします。

Q.水族館が終わった後にする作業で好きなことがあったら教えてください。

生き物たちが暮らす水槽の中を掃除するのが好きです。

私はイルカやアザラシを担当していて、彼らが暮らす水槽の中に入って掃除をします。生き物たちが、掃除をしている様子を見にきてくれたり、遊びにきたりしてくれる事も楽しいですが、ピカピカになった水槽を動物たちが元気に泳ぐ姿を見るのも好きです。

Q.水族館の生きもののウンチはどこにあるの？

水槽の中にウンチをしますので、水をきれいにする機械（ろ過機）で処理をして水の中に残らないようにしています。

Q.ウンチのお掃除はどうやってしますか？

ブラシを使って一生懸命こすって掃除をします。

こすったあとはしっかり水で流します。水族館の地下室には、ウンチや汚れた水をためるタンクがあって、そのタンクに集められた水は決められた場所に流れるようになっています。

Q.水族館の水はどこから来ていますか？

海の魚を飼っている水は、八丈島沖のきれいな海水を大きなトラックで水族館まで運んでもらっています。イルカやペンギンたちは水族館の前を流れる京浜運河の水をろ過して（きれいにして）使っています。

Q.水は毎日どれくらい使うのですか？

水族館では3種類の水を使っています。

- ①海水魚に使っている八丈島沖から運んでいる海水
- ②イルカやペンギンに使っている運河の水
- ③淡水魚に使っている淡水

それぞれの使用量は、八丈島沖から運んでいる海水が10～15トン、運河の水が約300トン、淡水が約80トンです。

合計すると、一日に400トン近くの水を使っています。

Q.水族館の水はどうやってきれいにしているの？

水族館の裏側には、水槽の水をろ過する機械があります。その機械を使って水をきれいにしていますが、定期的に水槽内の水を全部抜いて新しい水に入れ替えることもしています。

Q.水槽の厚さはどれくらいあるんですか？

水族館の大きな水槽に使用しているガラスは、「アクリルガラス」という特殊なガラスです。アクリルガラスは割れにくく、曲げることができます。しながわ水族館で一番大きいトンネル水槽のアクリルガラスの厚さは10.5～13cmで、500トンの水が水槽の中に入っているにもかかわらず、割れることはありません。

Q.おおきい魚が水族館に来たときはどうやって水槽に入れますか？

大きな魚は、活魚車という大きな水槽が付いているトラックで水族館に運ばれてきます。水族館に到着すると、大きな担架に移し、大勢のスタッフが持ち上げて水槽まで運びます。水槽によっては、クレーンで持ち上げて水槽に入れることもあります。

Q.水族館の水槽の水は本物の海水を使っているのですか？

水族館によっては、目の前の海の水を使用したり、人工海水と言って海水の素を水に溶かして使ったりしているところもありますが、しながわ水族館の海の魚の水槽では、八丈島沖の海水を使っています。八丈島に荷物を運ぶ船が東京に戻ってくるときに、きれいな海水を積んで帰ってきてもらい、それを水族館までトラックで運んできてもらっています。

Q.生きものの水槽を見るときに注目すると面白いポイントを教えてください。

生きものの注目する部分をしばって観察しながら比べてみると面白いと思います。
例えば、ヒレに注目してみましょう。ヒレの形は生き物によって様々です。魚とイルカを比べてみると、ついている向きも泳ぎ方も全く違います。早く泳ぐ魚とあまり泳がない魚で尾ビレの働きが変わってきますし、泳ぐためではないヒレを持つ魚もあります。ですから、自分なりに注目ポイントを作って水族館を見てみると新しい発見があるかもしれません。

Q.水槽のお掃除はどのくらいの頻度でどうやってされているんですか？

たいけんポケットでおぼけえび(アルテミア)を飼育していて、水槽の水を入れ替えてお掃除するのに苦労したので、水族館ではどうやってお掃除されているのかなあと気になりました。

水槽にいる生き物たちによって頻度は変わりますが、早いもので毎日、遅くても大体2週間に1回は水換えを行っています。
アクリル面や岩についたコケや汚れをブラシやスポンジで擦って落としたり、ホースで水を吸って汚れた水を抜いたりします。
時には水槽の生きものをすべて移動して、水をすべて抜いて、隅から隅までピカピカにする大掃除も行っています。



(C) Gakken

この内容を無断で転載、複写・複製することは固くお断りいたします